

投書箱 「わたしの声」 お答え

2022年3月 院所利用委員会
下越病院管理部

※ 投書の内容は原文のまま掲載しています。

	投書の内容	病院からの回答・対応
1月 下旬	<p>本日、無事に退院の日を迎える事ができ、「ほっ」としております。</p> <p>○月△日、救急車でこちらの病院に運ばれました。</p> <p>かなり危ない状態で、後で●●（病名）と聞きました。命を助けて頂き、大変感謝しております。</p> <p>先生、スタッフの皆様、有難うございました。</p> <p>※今後は、食事、生活環境に注意し、生活していきたいと思えます。</p> <p>本当にありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">50歳代 女性</p>	<p>感謝の言葉をありがとうございます。</p> <p>これからも患者さんが安心して治療を受けて頂けるよう、職員一同励んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">3階東病棟師長 長井 悦子</p>
1月 下旬	<p>健康診断を受けるために、大勢の人が待っていましたが、順番がハッキリしませんでした。番号札があれば良いと思います。</p> <p style="text-align: right;">70歳代 男性</p>	<p>健診をご利用いただきありがとうございました。</p> <p>来られた順番がはっきりせず、申し訳ありませんでした。</p> <p>ご提案いただいた番号札について検討しましたが、採血の順番カードや受診番号票などを配布するため、いろいろな番号があり、かえって混乱することが予想されます。そのため「健診室の入口に近い席から、来院順に座ってお待ちください」等わかりやすい案内を掲示いたします。また、受付のファイルを配布する際に「先に来られている方はおられませんか」と声かけもいたします。</p> <p>今後もお気づきの点がありましたら、遠慮なくお知らせください。この度は貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">健康管理課課長 二宮 美香</p>
1月 下旬	<p>家族が面会に来た様子ですが、西棟4階の受付の若い女性は5分以上待たせても何もしてくれない。</p> <p>どういう教育をしているのですか。</p> <p>入院中の者です。</p>	<p>この度はお待たせして申し訳ありませんでした。</p> <p>患者さんやご家族がナースステーションにいらっしゃると、事務または看護師が声をかけ、ご用件をうかがい、本日の担当看護師に連絡をしてお待ちいただいています。対応が重なるとお時間がかかったり、お待たせすることもあるかもしれません。</p> <p>現在、原則、面会禁止のため、届け物を持ってきていただくご家族も多く来られます。</p> <p>順次対応を行なっておりますので、ご理解を賜りたいと思います。まことに申し訳ありませんでした。</p> <p style="text-align: right;">4階西病棟師長 本田 裕加</p>

	投書の内容	病院からの回答・対応
2月 月上旬	<p>きびしい寒さとコロナ禍の中で、一生懸命働いていらっしゃる下越病院の皆さまに、一言お礼を申し上げたく、ペンをとりました。 ○月△日人間ドッグを受けたときのこと、検診もほぼ終わり、腹部エコーの部屋を出たときのことでした。 右手にはめていたはずのロッカーのキーがありません。 エコーで仕事をしていらした方が私と一緒に、検診してくれた各部屋を回ってくれました。●歳の私は、もうあわて切って、足もよろめいています。 「大丈夫、見つかりますよ」 エコー検査の職員の方は励ましてくれました。 各検査室の人はみんな親切でした。一生懸命捜してくれました。エコーの人が部屋に戻ると、通りかかった看護師さんが一緒に捜してくれました。 「もう一度、腕を見せて」とおっしゃるので、はめていたはずの右手を見ましたがありません。 「左手を見せて」 あるはずはないと思いながら腕まくりをしました。ところがあったのです。いつのまにか左手にはめてしまっていたのです。 「よかったですね」 看護師さんは、やさしく言って立ち去りました。 あわてん坊の自分をせめてばかりいて、看護師さんにも、ほかの方々にも、ろくすっぽお礼を言わなかったことを、今、恥じています。 私のカギ探しにつきあってくれたスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。 苦手な胃カメラもスムーズに終わりました。皆さんの親切が私の心をあったかくしてくれて、カメラもすーっと通ったのだと思います。 もう一度言わせてください。 私の“カギ騒動”につきあってくれた下越病院の皆さん、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">80歳代 女性</p>	<p>ご丁寧に、感謝の言葉をありがとうございます。 検査課職員一同、とても温かい気持ちになりました。 これからも患者さんの気持ちに寄り添った対応を心掛けてまいります。</p> <p style="text-align: right;">検査課課長 高橋 真帆</p>
2月 月上旬	<p>質問がしたく、看護師さんと呼ばいとめたら、違う業務の方でした（エプロン着用） お医者様と部屋に入る仕事をされているようですが・・・。 看護師さんの仕事ではないのですか？</p> <p style="text-align: right;">60歳代 女性</p>	<p>ご質問ありがとうございます。 私たちは、医師支援課に所属している事務職員です。 外来では、診察の時に患者さんを診察室に呼び入れたり、予約をお取りしたり、医師の診察を補助する業務を担当しております。 また、診察介助をする場合もあり、衛生面を考慮して、エプロンを着用して業務しています。 患者様からのお問い合わせには、内容により医師や看護師に確認したり、相談したりするなどして対応しております。 気軽にお声掛けください。</p> <p style="text-align: right;">医師支援課課長 塩原 伸子</p>

	投書の内容	病院からの回答・対応
2月 月上旬	<p>〇〇先生の老人に対する接し方がひどすぎました。 老人で90近い為、走ったり、支度が早く出きないのに、 早く行け、早く行けと言葉と手で非常に急かせ、とてもイヤな気持ちです。 自分が体が動くので、体の不自由な方の気持ちがわからないのではありませんか。 そんな先生にみてもらいたくありません。 二度とこちらへきたくありません。</p> <p style="text-align: right;">50歳代 女性（父親80歳代）</p>	<p>この度はご不快な思いをされたこととお詫び申し上げます。 病院としましては患者さんやご家族に不快感を与えるような職員の対応は容認できません。当該医師に指導いたしました。</p> <p style="text-align: right;">院長 山川 良一</p>